

美唄市と山ノ内町のパートナーシップ協定（案）の概要

1 目的

それぞれの特性を生かしながら、双方の連携による取組を推進し、相互の発展を目指すことにより、広く地域経済及び地域づくりの活性化に寄与すること。

2 取組方針

- 自地域にはない資源（ヒト・モノ・コト）を相互に活用
- 風土や歴史、文化、産業などの違いを生かした連携

3 連携項目（期待する効果）

- ② 人材育成への取組に関すること
（期待する効果：地域の魅力や誇りの再発見、課題の再認識）
- ③ 地域資源の活用による地域経済の発展に関すること
（期待する効果：地域経済の活性化）
- ④ 教育・文化の振興、生涯学習の推進に関すること
（期待する効果：魅力ある教育内容の創造）
- ⑤ 課題解決または価値創造への取組に関すること
（期待する効果：ノウハウ共有による課題解決・新たな価値の創造）
- ⑥ 災害等が発生した際の応援に関すること
（期待する効果：災害時の相互応援体制の構築）

4 具体的な取組例

- ① 人材育成への取組に関すること

職員の相互交流

- ・ 相手自治体がイベントを開催する時に、必要に応じて職員を派遣する。
- ・ 相互の職員を派遣し、観光、環境、教育、福祉などにおける特徴的な取組について研修する。
- ・ 職員向け研修等の合同開催（研修内容はマーケティング等を想定）

- ② 地域資源の活用による地域経済の発展に関すること

お互いの名産品等を活用した地域おこし

- ・ 山ノ内町の飲食店で「美唄焼き鳥」を提供し、美唄市で山ノ内町産の果物を販売するようなイメージ。
- ・ 首都圏等の開催地(想定)で、名産品展等の共同出展
- ・ お互いの名産品を組み合わせたコラボ商品の開発

③ 教育・文化の振興、生涯学習の推進に関すること

共同で教育事業を運営

- ・オンライン英会話教室を共同で運営するイメージ。(掛かる費用や人材を折半するため)

④ 課題解決または価値創造への取組に関すること

政策立案及び実行のための協力

- ・政策研究会のようなものを設置し、自治体として共通する課題に対して共同で解決策を模索する。(地域コミュニティ、子育て支援、ふるさと納税、移住促進、空き家問題など、近隣自治体とは競いがちなものが良いか)
- ・ふるさと納税の返礼品等に係るコラボ商品の開発など、双方のコンテンツを掛け合わせることによる新たな価値の創造
- ・お互いの行政施設(水道施設、学校等)の見学説明会を実施することで、外部からの客観的意見による問題点の洗い出しを行う。
- ・宮島沼や志賀高原等における自然環境保全の取り組み及び観光PRを連携して実施する。

⑤ 災害等が発生した際の応援に関すること

災害時の相互応援

- ・近隣市町村からの応援が見込めない大規模災害発生の際に人的・物的支援を行う。(発災後、要請に基づいて災害対策現地情報連絡員(リエゾン)を派遣し、必要物資の把握を行うとともに、被災者支援、避難所運営等に従事するイメージ)